

平成 30 年度決算 特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険	132 億 327 万円	129 億 1,190 万円	0 万円	2 億 9,137 万円
介護保険	91 億 730 万円	87 億 348 万円	0 万円	4 億 382 万円
後期高齢者医療	32 億 8 万円	31 億 2,346 万円	0 万円	7,662 万円
祖父江霊園事業	1,623 万円	1,527 万円	0 万円	96 万円
稲沢西土地区画整理事業	6 億 3,245 万円	2 億 451 万円	4,976 万円	3 億 7,818 万円
下津陸田土地区画整理事業	1 億 3,255 万円	1 億 3,255 万円	0 万円	0 万円

※下津陸田土地区画整理事業特別会計については、事業完了に伴い平成 30 年度をもって廃止

平成 30 年度決算 企業会計

会計名	収入決算額	支出決算額
病院事業	収益的 69 億 4,812 万円	73 億 4,146 万円
	資本的 7 億 2,926 万円	8 億 5,300 万円
水道事業	収益的 28 億 1,766 万円	21 億 7,406 万円
	資本的 3 億 4,832 万円	19 億 6,624 万円
公共下水道事業	収益的 18 億 8,489 万円	18 億 6,847 万円
	資本的 12 億 2,054 万円	19 億 1,854 万円
集落排水事業	収益的 3 億 1,593 万円	3 億 9,129 万円
	資本的 6,962 万円	7,111 万円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

【用語解説】

収益的収支…企業の経営活動に伴って発生する収益とそれに対応する費用。収益としては水道料金や診療収入が、費用としては職員給与や建物の減価償却費などが計上される
資本的収支…企業の将来活動に備えて行う建設改良と、企業債の償還金支出とその財源となる収入

病院事業 業務量

患者数(入院)	68,944 人 (1 日当たり 188.9 人)
患者数(外来)	138,601 人 (1 日当たり 568.0 人)
計	207,545 人
外来診療日数	244 日
許可病床数	320 床
稼働病床数	274 床

※1日当たりの患者数(外来)は、患者数(外来)を外来診療日数で割った数

水道事業 業務量

年度末給水人口	136,885 人
年度末給水栓数	57,454 栓
配水量	15,329,938 m ³ (1 日当たり 42,000 m ³)
給水量	14,170,726 m ³ (1 日当たり 38,824 m ³)
有収率	92.4%
供給単価	165.30 円
給水原価	131.51 円

公共下水道事業 業務量

排水処理区域内人口	59,396 人
総排水量	5,125,395 m ³
1 日平均排水量	14,042 m ³

集落排水事業 業務量

排水処理区域内人口	8,192 人
総排水量	746,848 m ³
1 日平均排水量	2,046 m ³

一般会計の決算額(497億7,408万円)を年収500万円の家庭の収入と支出に例えてみると

家庭の収入に例えた項目(実際の歳入決算内訳)	収入に例えた額(歳入決算額)	割合
給料などの基本的な収入(市税、地方譲与税、交付金など)	255.5 万円 (254 億 3,005 万円)	51.1%
親などからの援助(地方交付税、国・県支出金など)	120.2 万円 (119 億 6,315 万円)	24.0%
パート・家賃収入など(分担金及び負担金、使用料など)	35.0 万円 (34 億 8,880 万円)	7.0%
預金の引き出し(繰入金)	11.8 万円 (11 億 7,614 万円)	2.4%
前年度の残金(繰越金)	23.0 万円 (22 億 9,293 万円)	4.6%
雑収入(諸収入など)	9.9 万円 (9 億 8,131 万円)	2.0%
金融機関からの借り入れ(市債)	44.6 万円 (44 億 4,170 万円)	8.9%
合計	500 万円 (497 億 7,408 万円)	100%

家庭の支出に例えた項目(実際の歳出決算内訳)	支出に例えた額(歳出決算額)	割合
食費・日用品などの生活費(人件費、物件費)	144.5 万円 (143 億 8,809 万円)	28.9%
医療費・教育費など(扶助費)	101.4 万円 (100 億 9,155 万円)	20.3%
ローンの返済(公債費)	41.7 万円 (41 億 5,552 万円)	8.3%
家屋や家電品などの修理(維持補修費)	9.0 万円 (8 億 9,795 万円)	1.8%
友人などへの援助(補助費等や出資金、貸付金)	55.9 万円 (55 億 6,504 万円)	11.2%
預金(積立金、予備費)	22.0 万円 (21 億 8,573 万円)	4.4%
子どもへの仕送り(繰越金)	40.8 万円 (40 億 6,242 万円)	8.1%
家屋の増改築・車の購入など(投資的経費)	56.8 万円 (56 億 5,146 万円)	11.4%
翌年度へ繰り越し(歳入歳出差引)	27.9 万円 (27 億 7,632 万円)	5.6%
合計	500 万円 (497 億 7,408 万円)	100%

平成 30 年度決算 一般会計

歳入総額 497 億 7,408 万円

市税 218 億 1,946 万円 (43.8%)

<内訳>

固定資産税	102 億 5,819 万円
市民税	95 億 7,779 万円
都市計画税	8 億 8,848 万円
市たばこ税	8 億 1,780 万円
軽自動車税	2 億 7,720 万円

国庫支出金 53 億 9,870 万円 (10.9%)

市債 44 億 4,170 万円 (8.9%)

地方交付税 36 億 365 万円 (7.3%)

県支出金 28 億 3,095 万円 (5.7%)

地方消費税交付金 26 億 247 万円 (5.2%)

繰越金 22 億 9,293 万円 (4.6%)

その他 67 億 8,422 万円 (13.6%)

歳出総額 469 億 9,776 万円

民生費 170 億 4,100 万円 (36.3%)
(高齢者福祉・保育園・生活保護など)

土木費 75 億 989 万円 (16.0%)
(道路・橋りょう・河川・公園など)

総務費 49 億 7,552 万円 (10.6%)
(人事・企画・住民基本台帳・選挙など)

衛生費 47 億 907 万円 (10.0%)
(住民健康診査・がん検診・ごみ処理など)

教育費 41 億 7,853 万円 (8.9%)
(小中学校・市民会館・図書館・美術館・生涯学習など)

公債費 41 億 5,552 万円 (8.8%)
(市債(市の長期借入金)の元金・利子など)

その他 44 億 2,823 万円 (9.4%)
(消防費・商工費・農林業費・議会費・労働費)

歳入歳出差引額 27 億 7,632 万円

翌年度へ繰り越すべき財源 2 億 2,892 万円
実質収支額 25 億 4,740 万円

財政公表

問合せ先 市役所財政課
0587(32)1171
1002400

皆さんが納めた税金などがどのように使われたか、「市の家計簿」をお知らせする財政公表。今回は、平成 30 年度の決算概要と令和元年度上半期の予算執行状況をお知らせします。※1万円未満は四捨五入していただきますので、詳しい数字などは市のホームページや市役所行政情報コーナーで確認できます

平成 30 年度の主な事業

民生費

- 第1子の基準を中学3年生以下とした第2子の幼稚園授業料および保育料無償化事業の拡充
- 子育て応援アプリ「すくすくいなッピー」の導入
- 小規模保育施設の整備
- 老人福祉センターさくら館の耐震化・改修事業
- 祖父江ふれあいの郷の改修事業

総務費

- 新分庁舎等整備事業(設計等)
- 旧祖父江・平和支所の解体
- スマートフォン対応ホームページ管理システムの導入
- NHK公開番組および民放公開番組の招へい

教育費

- 小学校空調設備(エアコン)整備事業(設計)
- 中学校空調設備(エアコン)整備事業
- セーフティ・プラスワン事業(安全サポート・学習活動支援)
- 小学校外国語教育推進事業
- 祖父江生涯学習施設等整備事業(設計)
- 大里西公民館整備事業(設計等)
- 教育施設長寿命化計画の策定
- 久納奨学基金交付事業

土木費

- 国府宮駅周辺再整備検討調査事業
- 道路整備事業(生活道路の補修など)
- 街路整備事業(木全桜木線、木全池部線など)
- 地下道路面冠水警報装置改良事業(子生和・井之口)

衛生費

- 特例任意予防接種費の補助
- 節目歯科健診の対象者の拡充

消防費

- 消防団詰所(第4分団)の移転整備
- 平和分署の耐震化・改修事業
- はしご付消防自動車(消防署)の更新

商工費

- 第2期平和工業団地開発事業の推進
- (仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろば整備事業(設計等)
- デジタルサイネージの設置(名鉄国府宮駅)

農林業費

- 法立東井筋地区排水路改修事業(設計)
- (仮称)イチヨウ見本園整備事業(基本計画策定等)
- 剪定枝処理対策事業費の補助

労働費

- 稲沢勤労青少年ホームの解体(設計)
- 東部体育センターの耐震化・改修事業